

公益財団法人 神奈川県社会復帰援護会

本部事務所
〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町41番7号
TEL(044)751-2756 FAX(044)789-9749

地域活動支援センター オアシス井田
〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町41番7号
TEL(044)789-9743 FAX(044)789-9749

地域活動支援センター パンブーハウス
〒213-0014 川崎市高津区新作6丁目16-23 フォールブル新築
TEL・FAX(044)852-0660

精神障がい者就労移行支援センター かわさき [かわさき@Job]
〒211-0042 川崎市中原区下新城2-1-25 ヒロヤマビル 2F
TEL(044)777-1820 FAX(044)750-8540

engokai news

援護会ニュース

www8.ocn.ne.jp/engokai/ 2014.6.25

これからのよてい
2014年7月16日(水)
第17回援護会主催
ボウリング大会

5.27 定例理事・評議員会開催

5月27日(火)に公益財団法人神奈川県社会復帰援護会の定例理事・評議員会が新理事に選任された菊地とき子氏、黒木則行氏、松崎民雄氏、由利珠美氏、横沢文夫氏を含めた理事全員が出席し開催された。

平成25年度の決算報告が税理士の伊藤先生より説明があり、全員異議無くこれに賛成した。

しかしながら、援護会の財政状況は市からの補助金に賛成した。

時間経過とともに中長期的な目標や事業計画の見直しを求められ、素早く新たな目標や事業計画を策定

今後の援護会の運営について

を中心としたものであることから予算的には厳しい状況が予想されるということ、各作業所の運営については、今後様々な創意工夫が要求されるということも全員で確認した。

することが必要となる時にそれらに対応した方針に沿って通所者等に対するサービスを提供するためには、場合によっては組織の戦略を変更し、あわせて組織の構造を再設計することも必要となります。

経営の健全化及び運営の適正化を図り、それにより利用者が満足できる質の高いサービスを提供するとともに、職員が安心して継続的に働き続けることができる環境づくりをしていかなければならない。

第17回ボウリング大会 7月16日に開催!!

今年も昨年に引き続き交流と親睦を目的に左記により第17回ボウリング大会を開催いたします。

尚、今回もゲームを楽しんでいただくことを考慮して、チーム毎に順位を競うことに致しました。

今年も楽しく賑やかな大会にしたいと思います。

皆様のご協力をお願い致します。



盛況だった昨年度の16回ボウリング大会



開催月日
平成26年7月16日(水)
12時00分〜16時00分

場所
タチバナボウル

オアシス井田の電話が変わりました

地域活動支援センター
オアシス井田
TEL(044)789-9743
FAX(044)789-9749
(FAXは本部兼用)

そのために、月に一度、各施設の施設長が集まり、会議を行い、全体の報告事項や意見をテーマとしてあげ、検討し、また、各施設より様々な事例を持ち寄り、意見交換を行うことで、施設では、

「理事会・評議員会」に諮っていくことで、施設長会議の結論を保障することができ、そして、各施設の施設長は、職員会議(常勤・非常勤を含めた)を積極的に開催し、報告事項やそこで検討された結論等を提示し、施設全体で共有していくと同時に、それらをより良いものとする提言や問題点の指摘等を積極的に拾い上げていくことで、次回施設長会議をより豊かなものにしていく。

そうしたことも、理事・評議員全員で確認した。

施設長会議

会長を始めとした各理事も積極的にこれに参加することにより、施設長を中心とした職員達が目標や事業計画を形づくっていくときに、より良い、より実現可能なプランとなるようにアドバイスや助言をおこない、最終的な議決機関である「理事会・評議員会」に諮っていただくことで、施設長会議の結論を保障することができ、そして、各施設の施設長は、職員会議(常勤・非常勤を含めた)を積極的に開催し、報告事項やそこで検討された結論等を提示し、施設全体で共有していくと同時に、それらをより良いものとする提言や問題点の指摘等を積極的に拾い上げていくことで、次回施設長会議をより豊かなものにしていく。

そうしたことも、理事・評議員全員で確認した。

アンケートのお願い



精神障がい者就労移行支援センター かわさき
[かわさき@Job]

精神障がい者は、基本的には精神科主治医による日検討し、サービスの質の向上に繋げる。そうしたことを通じて、援護会全体の中長期的な目標や事業計画を造り上げていくことができる。

会長を始めとした各理事も積極的にこれに参加することにより、施設長を中心とした職員達が目標や事業計画を形づくっていくときに、より良い、より実現可能なプランとなるようにアドバイスや助言をおこない、最終的な議決機関である「理事会・評議員会」に諮っていただくことで、施設長会議の結論を保障することができ、そして、各施設の施設長は、職員会議(常勤・非常勤を含めた)を積極的に開催し、報告事項やそこで検討された結論等を提示し、施設全体で共有していくと同時に、それらをより良いものとする提言や問題点の指摘等を積極的に拾い上げていくことで、次回施設長会議をより豊かなものにしていく。

そうしたことも、理事・評議員全員で確認した。

かわさき@Jobでは、

就労移行支援センター及び地域活動支援センターに通所する利用者さんを対象に健康維持に関する実情を把握し、課題を明確化するためのアンケートを実施することといたしました。

この調査研究は、利用者及び支援者の共同参画事業とし、利用者にはアンケート作成から集計分析作業への参加を依頼し、関与してもらうことで、利用者が「自分の健康は自分で守る」ということに気づき、健康プログラムへの参加等健康維持に自ら積極的に取り組む機会になればと思います。

また、支援者には、利用者が取り組みやすい運動プログラム、健康教育プログラム、ストレスマネージメント、コーピングスキル等のプログラムを考案し提供する機会にしたいと思っています。



オアシス井田 富士芝桜まつり & 桔梗屋工場見学

快晴に恵まれた5月16日(金)、オアシス井田の総勢20名。午前8時に一人の遅刻もなく一路富士の麓を目指して出発進行。

オアシス井田の運営委員2人、パソコンクラブ、書道クラブの講師の先生、理事2人も参加し賑やかな一行となりました。

今回の目的は、「富士芝桜まつり&桔梗屋工場見学」です。昼食は、芝桜まつりで好きなものを自由に食べるといいうものでした。

善男善女の集まり故か? 行きの車中では見えなかった富士山も「芝桜まつり」会場では、その勇姿をくつきりと見せてくれました。

「桔梗屋の工場見学」の後、帰途の道路事情も良く、午後5時には全員無事帰着しました。



オアシス井田の魅力 (その②)

オアシス井田の活動は、健康作りを意識した体操や教室の開催及び生ジュース、料理プログラム、自主製品クラブ活動等があります。



新作・だるまちゃん

かつて下請け作業を主な活動としていた作業所時代から活動内容・給料支払い体系を大きく見直し、現在は同じ空間で「作業に参加し給料を稼ぐ人」と「作業をせずにゆったり過「ごす人」が混在できる「オアシススタイル」が生み出されました。

「生きがい就労」の先駆けのスタイルであるオアシス井田の「自主製品」について、今回はご紹介したいと思います。

オアシス井田の前進である援護会作業所が下請け作業を停止したのは、今から13年前になります。当時、バブル崩壊によって下請け作業が激減、メンバーの高齢化も相まって、作業が回らなくなってきたいました。「作業の日」と「待機の日」が月に半々くらいのペースになり、出勤から退社までを作業時間として時給計算をする従来の方法をとると、

「仕事をしたいなくても給料がもらえる人」が出てきた。始めてしまいました。労働者として援護会作業所をけん引してきたベテランさん達が、その違和感について声を挙げ、下請け作業の継続について、何時間も討議しましたが、納得のいく方法が見出せず、下請け作業は一旦停止し、代わりに待機の時間に作ってきた「自主製品」の活動に力を入れることになりました。

品物を納品すれば収入が入ってくる下請け作業の仕組みとは異なり、自主製品の場合は、作っても売れなければ収入にはなりません。当たり前のことですが、当たり前でなかったことにみんなが気が付き始め、「仕事」に対する感覚が少しずつ変化していききました。当然、作業をしない人は給料が渡りません。「作業はしない、給料もいらない」、気が向いた時に参加する、「少しでも多く給料が欲しいから長く作業したい」と作業に向き合う姿勢はそれぞれ。それぞれの「生きる楽しみ」に合わせて参加する「オアシスタイル」で自主製品は発展してきました。自主製品を積極的に始めた当初は、「手芸は苦手」とイメージ先行で参加しない方が多かったのですが、現在では「手芸男子」が続出！ 雑巾や編み物を一から挑戦する

人も増加中です。また、「生きがい就労」という言葉の通り、オアシス井田ではガッツ作業をする訳ではありません。一日のうち半日コマ、曜日によってAM・PMと自主製品の取り組む時間を決めて、集中した時間を過ごしています。こういうスタイルで作業に取り組める環境を作り出したオアシス井田って素敵ですよ!! 魅力的で自慢の活動紹介でした(笑)。

園芸クラブ



バンブーハウス

バンブーハウスでは、今季「園芸クラブ」が発足しました。菜園経験のあるメンバー主導で種から野菜を作っています。以前からのメンバーさんの希望がようやく叶いました。

昼食作り・お弁当作りをしているバンブーハウスは、食と深い関わりがあるので、植物を育て、収穫し、調理して食べるという楽しみがある。味深い試みです。種から育てているのは「バジル、大葉、ミニトマト、

人も増加中です。また、「生きがい就労」という言葉の通り、オアシス井田ではガッツ作業をする訳ではありません。一日のうち半日コマ、曜日によってAM・PMと自主製品の取り組む時間を決めて、集中した時間を過ごしています。こういうスタイルで作業に取り組める環境を作り出したオアシス井田って素敵ですよ!! 魅力的で自慢の活動紹介でした(笑)。



きゅうり」、苗から「唐辛子、島とうがらし」を育てています。島とうがらしでコーレーグース(沖縄の調味料)を作り、収穫祭で沖縄そばを食べるのが待ち遠しいです。メンバーさんは、ここで採れたバジルで『カプレーゼ』を作ったそうです。他に、薄い皮を一つ一つ丁寧にむいて作った「らっきょう漬け」、ヘタ取りがクセになりそうな「梅ジュース」、赤しそジュース」作りなど新しい事にも挑戦しています。

植物を育てることで、話題も増え、収穫祭に向けてますます楽しみの多くなるバンブーハウスです。



よろしく
お願いします

新職員紹介

岡 いづみさん

社会福祉士
出身…東京都
好きな食べ物…チーズ
星座…おとめ座
年齢…小学生の頃ピンクレディを踊っていました!

難波 薫さん

社会福祉士
出身…東京都
趣味…犬の散歩
ハイキング

五月中旬より精神障がい者就労移行支援センターかわさき(かわさき@job)に非常勤職員として勤務しています。信託銀行での窓口業務やテラー研修指導員等としての勤務経験を活かして、ビジネスマナーを担当させていただいています。勤務開始から一ヶ月、小笠原施設長はじめスタッフの皆さん、メンバーの皆さんのおかげで充実した楽しい毎日を過ごしています。

3人目の就労

精神障がい者就労移行支援センター かわさき

【かわさき@Job】

昨年9月に開所したかわさき@jobでは、早くも3人目のメンバーが就労に移行しました。今後ともプログラム等を実践させ、なる就労を願っています。新たなメンバーさんも募集しています。詳細は

オアシス井田の URL が変更になりました

www8.ocn.ne.jp/~oasis5/

公益財団法人 神奈川県社会復帰援護会の URL

www8.ocn.ne.jp/~engokaik

044 777-1820